

こたえ ペットボトルのリサイクル

はってん
発展 ①

ペットボトルのリサイクル

わたしたちが飲み終わったペットボトルは、ごみとしてすてられるのではなく、リサイクルされて、また使われています。

ペットボトルを出すときには、キャップとラベルを取って、中を水でさっと洗います。キャップやラベルは、ボトルとはちがう材料でできているからです。材料が分けられていないと、よい品物に作

りかえることができません。
集められたボトルは、工場で細かくくだかれ、きれいに洗われます。そして、新しいペットボトルや、たまごのパック、服の繊維などに生まれかわります。

わたしたち一人一人が、ていねいに分けて出すことが、リサイクルを成功させる第一歩なのです。

1 ペットボトルを出すときに、取るものは何ですか。

ア キャップとラベル

イ ボトルのそこ

ウ ボトルの口

2 キャップやラベルを取るのは、どうしてですか。

ボトルとはちがう材料でできていて、分けないとよい品物に作りかえられないから。

3 工場では、ボトルを細かくくだいた後、どうしますか。

きれいに

あらう

4 ペットボトルから作られる物に入らないものはどれですか。

ア たまごのパック

イ 服の繊維

ウ ガラスのコップ

5 筆者が、この文章でいちばんつたえたいことは何ですか。

一人一人がていねいに分けて出すことが大切だということ。

おうちの方へ

- 2は、材料がちがうこと・分けないとよい品物にならないことの両方が書けていると満点です。

参考資料：PETボトルリサイクル推進協議会「分別排出」／岐阜市「ペットボトルのキャップとラベルは、必ずはずして分別してください」